

前身 宮衙期	合川町枝光台地一帯 7世紀中頃～末
第1期	合川町古宮地区 7世紀末～8世紀中頃
第2期	合川町阿弥陀地区 8世紀中頃～10世紀前半
第3期	朝妻町三丁野地区 10世紀前半～11世紀後半
第4期	御井町横道地区 11世紀後半～12世紀後半

福岡県の南西部付近は筑後国と呼ばれていました。古代の筑後国を統括した行政機関が「筑後国府」です。筑後国府は、今から千三百年ほど前の七世紀末頃に作られ、それから約五百年の間、合川・朝妻・御井町一帯に広がっていました。この貴重な文化遺産である筑後国府について、最新の情報を提供する『筑後国府通信』の第九号をお届けします。今年、発掘調査の開始から約五十年目を経過しました。そこで今回は、約五十年にわたる発掘調査の歩みを振り返ってみたいと思います。

筑後国府通信

ちくごこくふうしん

2012
VOL. 9

はじめに

全国初の発掘調査



筑後国府の発掘調査は、昭和三十六（一九六二）年に始まりました。この発掘調査は、九州大学考古学教室により行われ、国府政庁（国府の中心施設で、政務・儀式を執り行う場）における調査としては全国初となるものでした。この発掘調査では、政庁の建物跡や築地塀、大量の古瓦などが発見され、その後の発掘調査にとって、大きな指針となりました。

(三) 昭和36年9月1日 市政ぐるめ (第三編郵便物系可)

ご協力に感謝

筑後国府遺跡の発掘調査

合川町枝光 だきつたばかりで、短期間で予期にある筑後以上成果をおさめました。紙上から厚くお礼を申し上げます。写真は筑後国府遺跡の発掘調査

山本氏に調査を依頼したもので、土地所有者のご協力を得て発掘に着手。カンカン照りつける炎天下で文化遺産の調査が続けられました。この発掘調査に際しては、別項のとおり九女教授山先生が原料が水垢によせられましたのでごらんください。

なお、この発掘調査に随上自衛隊、福岡県警、地元合川公民館、同郷人会、学芸会、朝倉高校、三井高校、学大付中の諸先生や学生、生徒のみなさんが応援してくれました。

これは市政委員会が

八月五日から十五日までの八日間にあつて行なわれました。

九女教授が

山本氏に調査を依頼したもので、土地所有者のご協力を得て発掘に着手。カンカン照りつける炎天下で文化遺産の調査が続けられました。この発掘調査に際しては、別項のとおり九女教授山先生が原料が水垢によせられましたのでごらんください。

写真は筑後国府遺跡の発掘調査



▲昭和36（1961）年の発掘調査の様子



▲出土した古瓦などの遺物

▲昭和36年の発掘調査を紹介した市政ぐるめ

◆調査の開始◆

久留米市による発掘調査は、合川町に住宅がたくさん建ち始めた昭和四十年代後半から始まりました。第一次調査は、昭和四十八（一九七三）年二月、福岡教育大学久留米分校に委託され、高良川に近い古宮地区と、政庁推定地の阿弥陀地区で行われました。その年の十月には、久留米市教育委員会による開発に先立つ事前措置として、本格的に筑後国府跡の発掘調査が開始されています。この時の発掘調査では、古代御井駅（都と地方を結ぶ幹線道路沿いに設けられた中継拠点）推定地の葉山地区で行われましたが、御井駅に関する発見はなかったということです。



▲風祭地区での発掘調査（1978年）

筑後国府跡の発掘調査は、現在までに二四九回行われています。この長きにわたる調査・研究により、筑後国府跡の具体像が徐々に明らかになってきています。その成果は、以前の『筑後国府通信』でもお伝えしていますが、その重要性から、平成八（一九九六）年には国史跡に指定されました。これは、地元の皆様のご協力があったことです。今後は、将来にわたって保存されていく史跡筑後国府跡を、久留米の宝として、そして学習の場やまちづくりの拠点として活用していきたいと考えています。

◆史跡筑後国府跡の活用◆



▲役人が使った食器類

平成23年度に開催した催しの紹介

平成23年度は、筑後国府の発掘調査が開始され、約50年目にあたることから、久留米市役所と小郡市の九州歴史資料館で『第3回筑後国府展』を開催しました。あわせて、筑後国府の見どころを調査員が解説して歩く「筑後国府を歩こう」や、同じ筑後国内で発見されていて、筑後国府と同様の行政機関である国指定史跡の小郡官衙遺跡・上岩田遺跡・下高橋官衙遺跡、そして造られた時代は異なりますが、国史跡・田主丸大塚古墳を巡るバスツアーを開催しました。

このバスツアーでは、小郡市、大刀洗町の専門職員やボランティアの方々から史跡の解説をしていただき、参加者のみなさんは、調査・研究成果などの説明に熱心に耳を傾けていらっしゃいました。その後、筑後国府跡にも立ち寄り、見どころを歩いて回りました。今後も、このような企画を続けていきたいと思っておりますので、みなさんもご参加ください。



▲バスツアーの様子

『筑後国府通信』第九号

平成二十四年三月三十一日

発行 久留米市教育委員会

編集 久留米市市民文化局 文化財保護課

〒八三〇-八五二〇 久留米市城南町一五番地三

TEL〇九四二-一三〇〇-一九二二五 FAX〇九四二-一三〇〇-一九七一五